


2021年度年間テーマ：「光りの子として歩もう！～イエスさま、来てください～」

テーマ曲： ワワワいっしょに (92番)

暗唱聖句：「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」 ヨハネによる福音書 17章 3節

- ・さんび：さんびか2番「世界のともよ」（下を参照） 奏楽：五十嵐美代枝姉妹
- ・おいのり（今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。）
- ・せいしょ マタイによる福音書9章9～13節（p.15）
- ・おはなし「われをもすくいし・・・」  スーパーリンク 宣教師

みなさん、こんにちは！今日は「われをもすくいし」というお話をします。このタイトルは実は有名な讚美歌のタイトルでもありますよ。」  
♪「われをもすくいしくしきめぐみ」♪  
アッ、聞いたことがあるという気がするでしょ！そうです。時々教会の礼拝で歌うよね！この歌は奴隷を運ぶ船の船長が作りました。なにに、奴隷を運ぶって？あまりにもひどいことをやっているのではないか！でも、あの船長はある時自分がひどい罪人であることに気がついて、悔い改めて、イエス様を信じて罪の赦しと新しい命が与えられました。そしてついに、イエス様の救いを宣べ伝える牧師にもなっていました。知っているお話かな？

マタイによる福音書 9.

マタイを弟子にする（マコ2 13-17、ルカ5 27-32）  
9 イエスはそこをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、「わたしに従いなさい」と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。10 イエスがその家で食事をしておられたときのことである。徴税人や罪人も大勢やって来て、イエスや弟子たちと同居していた。11 ファリサイ派の人々はこれを見て、弟子たちに、「なぜ、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。12 イエスはこれ聞いて言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。13 わたしが求めるのは憐れみであって、いけにえではない」とはどういう意味か、行って学ばなさい。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

今日の聖書の箇所、あの船長と同じようにひどい生活をしていた人々が登場します。まず、マタイという人物です。そして、マタイの仲間です。イエス様の弟子となって、その人生がすっかり変わっていく人たちですね。立派な宗教家ではないし、敬虔な清い生活を送っていない連中ですね。聖書をよく知っていることで有名になっていた律法の専門家やパリサイ派のユダヤ人は、イエス様が救い主であることをなかなか信じてくれません。逆に、イエス様があんな連中と付き合うことをひどく批判します。自分自身たちが立派な信仰者で、イエス様が提供してくれる罪の赦しなど要らないと高ぶっています。でも、彼らが指さしをして「罪人だあ」と呼ぶ人たちは違います。本当に神様に申し訳ないことをしてきた

から、なんとかして神様に罪を赦していただきたい、神様に喜んでいただけるような者になりたいと、切に願っています。そしてなんと、イエス様ご自身は へりくだって、ご自分の友達 あるいはご自分の弟子になりたい、これらの人々とともに食事をしたり、ご自身の救われた民として受け入れてくださいます。

徴税人のマタイ。これは今日の税務署の公務員ではありませんよ！ユダヤ人でありながら、ユダヤ人の敵と協力して、自分の同胞から余計な金を取り上げて、貧しい人をいじめることで有名です。ですから、嫌われています。他に嫌われている人と仲良くするしかありません。ユダヤ人の会堂（当時の教会）に入れてもらえません。神様から遠ざかってしまっていることに、イエス様に出会うことによって気がつきました。でも、喜ばしいことに、次第にイエス様の弟子となるだけでなく、福音書を書きまとめる著者となっていきますね！「マタイによる福音書」がそれです。イエス様はわざわざ心の苦しい思いで悩む罪人のマタイを呼んで、「私に従いなさい」と招きました。マタイは喜んで収税所を後にして残った人生を神様が喜ばれることを熱心に行っていくのでした。「われをもすくいし」の船長と同じでした。そしてこれを知ったマタイの大勢の仲間もイエス様のお話を聞き入って、信じて救われる神の民に加わります。めでたいことでしょう。

でも、これを喜ばない人々もいました。自分が正しい、イエス様の救いなんか要らないと思いがっている人たちです。マタイとその仲間が汚い、神様に絶対に愛されることがありえないと思う一方、彼らを招いて、優しい気持ちで彼らに神様のことを教えようとしません。イエス様に言わせると、これはまるで医者が病人を治す薬があっても、病人にこれをやらないようなことだと言いますね。本当に悲しいことです。情けを知らないパリサイ人が自分のこころの病んでいる状態に気づいていません。でも、イエス様はこの機会に彼らを諭して、彼らをも招くのです。私たち人間は元々心が病んで、医者が必要としています。私たちの魂を癒してくださるのは唯一の救い主、憐れみ深い主イエス様ですね。気が付いたら、私たちにも「私に従いなさい」と呼びかけてくださるイエス様に、「はい、主よ、私もあなたに頼ります。信じます。お救いください。」と答えましょう。そうすれば、私たちもマタイのように イエス様のことを伝える弟子としてくださるに違いありません！感謝です！

一言をご一緒に祈りましょう！

恵み深い愛する天の父なる神様、今日も教会学校に加わる事ができて、ありがとうございました。罪人を招くイエス様の姿を弟子となったマタイの言葉によって見る事ができました。自分の病に、イエス様が心を開かなければ、気が付かない私たちです。でも神様の恵みの呼びかけのおかげで確認しました。どうか、私たちをもイエス様の民、イエス様の友、マタイたちの仲間に加えてください。そうしてイエス様の愛を人々に伝える者としてくださいますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。」

・（けんきん）教会で再びお会いするときにまとめてささげましょう。こひつじ科の献金箱を設置されましたので、用いましょう。

・さんび さんびか 96 番 「心に神の愛を」（下を参照）

・お祈り（黙祷をもって神様が救ってくださることを信じて、感謝しましょう。）

## 2 せかいのともよ

相馬 恵助 作詞 1966

17世紀のさんびか から

おごそかに ♩ = 84



1. せ かーい の と もーよ み んーな で う たーおう  
 2. しゅ ーい えーす の ち ちーを み んーな で お がーもう  
 3. せ かーい の と もーよ み んーな で う たーおう



ひ とーり の か みーの み めーぐ み を  
 へ いーわ と あ いーの つ くーり ぬ し  
 み たーま の か みーの み ちーか ら を

(神)

### 1. 世界の友よ

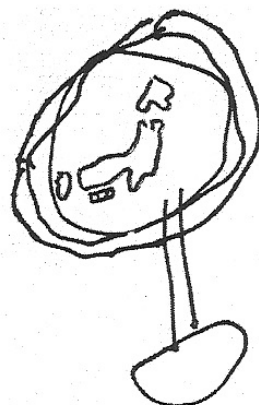
みんなで うたおう  
 一人の神の みめぐみを

### 2. 主イエスの父を

みんなで おがもう  
 平和と愛の つくりぬし

### 3. 世界の友よ

みんなで うたおう  
 みたまの神の み力を



# 96 心に神の愛を

詞不詳

曲不詳

E $\flat$  Ab

1.こころにかみのあいをーみた  
 2.こころにイエスのめぐみをーあ  
 3.こころにみたまの火をーもや

3 E $\flat$  B $\flat$ 7 E $\flat$

し て く だ さ い あ い さ れ る こ と よ  
 え て く だ さ さ い あ こ の 世 の お も い す  
 し て く だ さ い く ら い こ の 世 の な

6 Ab E $\flat$  B $\flat$ 7 E $\flat$

り もー あ い す る こ と の た め  
 て てー 十 字 架 を に な う た め  
 か でー も え て か が や く た め

9 二部コーラス E $\flat$  ハ Ab $\text{レ}$  F7 B $\flat$ 7 $\text{ル}$  E $\flat$  ヤ Ab E $\flat$

ハ レ ル ヤ ホ ザ ナ と 主 を ほ め よ た た え よ う

13 E $\flat$  ハ Ab $\text{レ}$  F7 B $\flat$ 7 $\text{ル}$  E $\flat$  ヤ

ハ レ ル ヤ ホ ザ ナ と 主 を た た え よ う